

企画展

殿村家の人々

～馬琴の理解者安守やすもりから日本画家小霞しょうかまで～



「犬夷評判記」より殿村安守(石水博物館蔵)



「牡丹に蝶図」殿村小霞画(個人蔵)

令和7年 3月8日(土)～
5月25日(日)

背景:「山水図」殿村小霞画(個人蔵)



松阪市立歴史民俗資料館

(2階 小津安二郎松阪記念館)



三重県松阪市殿町1539番地(松坂城跡内) TEL&FAX 0598-23-2381

入館料 一般/150円・6歳以上18歳以下/70円

休館日 月曜日(祝日を除く)、祝日の翌平日
※大型連休期間(4/26(土)～5/6(火))は無休

開館時間 3月まで 9:00～16:00
4月から 9:00～16:30

アクセス 電車:近鉄/JR松阪駅下車徒歩約15分
お車:松阪ICから約10分 市民病院前の松阪市駐車場(無料)をご利用ください。

※藍の縞模様は、伝統工芸品の「松阪木綿」柄です。



「梅図」月儂画安守賛
(本居宣長記念館蔵)



「曲亭翁精著八犬士随一犬江親兵衛」
歌川国芳画・櫛亭琴魚賛(個人蔵)



「宇津保物語年立」
殿村常久筆(個人蔵)



「兜図」殿村小霞画(個人蔵)



「薊に蛇と蛙図」殿村小霞画(個人蔵)

背景:「蓬萊山図」殿村小霞画(個人蔵)

殿村家は松阪中町に邸宅を置いた商家で、本家と分家・別家がありました。寛文10年(1670)、江戸大伝馬町一丁目で木綿仲買商を始め、その後木綿問屋となっています。松阪では両替店を営み、紀州藩関係の金融も取り扱いました。しかし、明治26年(1893)の松阪大火で家屋が焼失し、家系や商いについて不明な点も多くあります。

殿村家は文化活動にも積極的で、殿村安守・常久・精吉(櫛亭琴魚)は曲亭馬琴や本居宣長と交友し、多くの著作を遺しています。明治生まれの殿村小霞は、日本画家として活躍した人物で、幼少の頃から絵画を好み、東京美術学校に入学すると橋本雅邦に師事、国内外の展覧会に出品して数々の賞を受賞しました。

本企画展では、文化面から見た殿村家の人々にスポットを当て、特に殿村小霞の作品を中心に彼らの作品類などを紹介します。

「福寿草図」殿村小霞画(個人蔵)



松阪市立歴史民俗資料館
(2階 小津安二郎松阪記念館)

〒515-0073 三重県松阪市殿町1539 TEL&FAX 0598-23-2381